



大阪・関西万博に催事パートナー協賛

ロボット&モビリティステーション会場で公開

未来の月面探索を疑似体験

シミュレーションシステム実演 デジタルツイン技術を活用



未来の月と宇宙のバーチャル体験 (イメージ)

大阪・関西万博(2025年日本国際博覧会)が4月13日に開幕した。『このち
輝く未来社会のデザイン』をテーマに、世界中から多彩なパビリオンが集結。来場
者は、最先端技術やサステナブルな取り組みを体験しながら、未来の暮らしを体感
できる。フォーラムエイト(東京都港区)は、催事パートナーとして協賛し、2つ
のイベントに参加する。「ロボット&モビリティステーション」会場では、5月1
日~6月1日にバーチャル体験ができるシミュレーションシステムを展示。5月20日に
は「テーマウィーク」での未来の防災・減災に向けたトークセッションを実施する。

◆次世代の宇宙体験が楽
しめる仕掛け

ロボット&モビリティ
ステーションは、未来社
会ショーケース事業にお
ける「スマートモビリティ
万博」の一環として設
けられた展示会場。
スマートモビリティ万
博は、カーボンニュート
ラルが実現された未来社
会の姿を描き出すイベン
トで、旅客船としては国
内初の水素と電気のハイ
ブリッドで航行する水素
燃料電池船、レベル4
(無人運転可能な水陸)
相当の自動運転および走
行中給電といった新技術



フォーラムエイトの伊藤裕二社長

を融合させたEVバス、
次世代モビリティとして
の空飛ぶクルマ、未来社
会の実証実験の場として
ロボットエキスパートエン
ス体験・見ることがで
きる。

その一環として開設さ
れたロボット&モビリテ
ィステーションにおいて、
フォーラムエイトは『未
来の月と宇宙のバーチャ
ル体験』を期間限定で展
示する。

この展示では
未来の月面探索
をデジタル技術
で体験する機会
を提供。デジタ
ルツイン技術を
活用し、月の環
境を再現。最新
のシミュレーシ
ョンや3Dモデ
ルを通して、未
来の宇宙開発や

フォーラムエイトの伊
藤裕二社長は「月面の6
分の1重方や、その重方
で車を走らせたらどうな
るとか、シミュレータで
体験できるようにした。
宇宙は誰も簡単に行くこ
とはできず、ほとんどの
人が一生体験することが
ない。このシミュレータ
を通して、多くの人に疑
似体験してもらえれば」と
話す。

未来の防災・減災に向けた トークセッションを開催

「テーマウィーク」にも参加



ロボット&モビリティステーション 外観イメージ



ロボット&モビリティステーション 場内イメージ

◆災害意識と防災につい
て参加者とともに考察
もう1つの催事パート
ナーとして参加するテー
マウィーク『未来のコミ
ュニティとモビリティウ
ィーク』には、対話プロ
グラム「あなたの安全・
安心な未来に向けた、災
害大国である日本から
こそ世界への提言」を
5月20日(火)18時30分
20時に、テーマウィーク
スタジオで開催する。

国内外における、自然
災害・防災に引き合っ
ている著名人を招き、それ
ぞれの立場で向き
合っている課題に
ついて紹介する。
今後、世界規模
で起こりうる災害
に対して、日本に
おける最先端のIT
技術やソフトウ
エアの活用により、高度
に進んだ仮説・予測によ
る対策事例、世界各国に
フォーラムエイト伊藤社
長が登壇。そしてクリニ
ック教授の福田知弘氏、
環境エネルギー工学専
攻教授の福田知弘氏、
長が登壇。そしてクリニ
ック教授のエドウィン・
R・ガリア氏がVTR出
演する。

伊藤氏は「防災、減災
る(予約制)。



東北大学 災害科学国際研
究所教授、副学長(社会連携・
校友会・基金担当)
今村文彦氏



大阪大学 大学院工学研究科
環境エネルギー工学専攻 教授
福田 知弘氏



グリニッジ大学 火災安全工
学グループ教授 エドウィン・
R ガリア氏 (VTR出演)



モデレーターのパトリッ
ク・ハーラン氏

「テーマウィーク」と
は、世界中の国々が地球
的規模の課題の解決に向
け、対話によって「いの
ち輝く未来社会」を世界
と共に創造することを目
的として実施する取り組
みとなる。一定期間ごと
にテーマが設けられてい

国(行政)
・民間・個
人での災害
に対するの
向き合い方
とともに、
生活者自ら
の災害意識
と防災につ
いて、参加
者とともに
考える。
タレント
のパトリッ
ク・ハーラ
ン氏をモデ
レーターに、
東北大学災
害科学国際
研究所教授
副学長の今
村文彦氏、大
阪大学大学院
工学研究科

避難の重要性を提言した
い。災害の体験をシミュ
レーションすることによ
って、気がつくことはあ
る。ソフトウエアやシス
テムを通して、そのよう
なチャンスがあるから体
験できて、そういうこと
だったんだという気づき
が結構あり、それが非常
に重要だ。一番良いのは
訓練に参加することだが、
われわれとしてはバーチ
ャルを通して、体験と対
話をシミュレーションで
きる機会を提供していく
と述べている。

これらのイベントへの参加は、万博
入場チケットが必要。チケットおよ
び予約は下記のサイトで受け付けて
いる。

【チケットの購入サイト】
<https://ticket.expo2025.or.jp/>